

頭頸部がんのサバイバーシップを支えるために 患者の声から頭頸部がんの 治療とサポートについて考える

頭頸部がんは、外見、話すこと、食べることなど、人として生きていくうえで大切な機能に影響を及ぼします。疾患特性や治療方法も多岐にわたり、患者さんとのコミュニケーション、QOLへの配慮、社会復帰等の点でチーム医療が不可欠です。このセミナーでは、頭頸部がんについていま一度整理したうえで、頭頸部がん体験者の声をお届けし、患者・家族とのコミュニケーション、治療方法の決定プロセス、治療後の生活や社会復帰をどう支えるべきか、ディスカッションを通して考えます。

医療者向けセミナー

2015年 6月5日(金) 18:00～19:30

場所：神戸国際会議場 301:国際会議室(学会第2会場)
神戸市中央区港島 6-9-1 <http://kobe-cc.jp/kaigi/rece.html>

総合司会：岩江 信法(兵庫県立がんセンター 頭頸部外科部長) ・ 関岡 香(MBS アナウンサー)

プログラム

講演①	18:00～18:15 (15分)	「頭頸部がんの現状とこれから(仮題)」 岩江 信法 兵庫県立がんセンター 頭頸部外科 部長
講演②	18:15～18:25 (10分)	「働きざかりの40代、口腔がん(仮題)」 演者：清水 敏明 大手ハウジングメーカー勤務
トークセッション	18:25～19:30 (65分)	「頭頸部がんの治療とサバイバーシップを支えるために」 司会：岩江 信法 兵庫県立がんセンター 頭頸部外科 部長 関岡 香 MBS アナウンサー 回答者：耳鼻科医の立場から 花澤 豊行 / 千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 准教授 腫瘍内科医の立場から 横田 知哉 / 静岡県立静岡がんセンター 消化器内科 医長 放射線科医の立場から 太田 陽介 / 兵庫県立がんセンター 放射線科 医長 看護師の立場から 石井 しのぶ / 国立がん研究センター東病院 看護部 患者の立場から 清水 敏明 / 大手ハウジングメーカー勤務 患者の立場から 和田 修 / 神鈴会 会長

共催



第39回日本頭頸部癌学会



第4回アジア頭頸部癌学会

ONCOLOGY



Merck Serono メルクセロノ株式会社

CANCER NET JAPAN

NPO 法人キャンサーネットジャパン

後援：MBS